

ユニバーサルツーリズム科

高齢の方や障がいのある方などをお迎えするために求められる心構え、障がいに対する知識及び接客技能を学びます

募集締切：令和2年 2月18日（火）まで

受講
日時

令和2年 3月3日(火)、4日(水)

午前9時から午後4時まで（全2回／1回6時間）

受講場所

鳥取市幸町 71

鳥取市役所
市民交流センター
多目的室3F
（新庁舎になります）

対象者

宿泊業をはじめとする観光業にお勤めの方

定員

20名

※希望者が定員を上回る場合は、公開による抽選を行います。
希望者が少ない場合は、コースが中止になることがあります。

受講
料

2,400円

7名の多彩な講師陣がお待ちしております
【裏面をご覧ください】

～・・・～訓練内容～・・・～

ユニバーサルツーリズムとは何か、心のバリアフリーとは何か、ユニバーサルマナーの考え方など、ユニバーサルツーリズムを実践するために必要となる心構えを学ぶ	3時間
障がいの種類（肢体不自由、視覚障がい、聴覚障がい、言語障がい等）とその特性について学ぶ ※本科目において、「あいサポーター研修」を実施します。	3時間
高齢の方や障がいのある方などをお迎えするために求められる場面ごと（情報提供・問い合わせ、チェックイン、客室への案内、食事、入浴等）の接遇について学ぶ	3時間
鳥取県内のバリアフリー情報やバリアフリー観光のモデルコース等について学ぶ	3時間
総訓練時間	12時間

※すべての訓練は日本語で行います。個別通訳は行いません。

在 職 者 訓 練 受 講 申 込 書

申込書に必要事項を記入後、ファクシミリで送付してください。

送付先ファクシミリ番号： 0 8 5 8 － 2 6 － 2 2 4 8

鳥取県立産業人材育成センター倉吉校

【応募の流れ】

募集締切後に受講案内と納入通知書（受講料振込用紙）を郵送します。
（記載の納入期限までに振込をお願いします）

令和2年 月 日

切り取ってご利用ください

切り取ってご利用ください

受講希望の コース	<u>ユニバーサルツーリズム科</u>		
フリガナ			性別
氏 名			
生年月日	昭和・平成 年 月 日（ 歳）		
自 宅	住 所	〒	
	電 話 (携帯電話) ファクシミリ		
勤 務 先 (必ず記入して ください)	企 業 名		
	住 所	〒	
	電 話 ファクシミリ		
	従業員数	(ア) 1～ 29 人 (イ) 30～ 99 人 (ウ) 100～299 人 (エ) 300～499 人 (オ) 500～999 人 (カ) 1000 人以上 (該当するものに○印をつけてください)	
受講料の 支払者	本 人 ・ 勤務先 (どちらかに○印をつけてください)		
通知文送付先	自 宅 ・ 勤務先 (どちらかに○印をつけてください)		
昼間連絡先	自 宅 ・ 携帯電話 ・ 勤務先 (連絡のつきやすいものに○印をつけてください)		

お 問 合 せ 先	<研修企画者> 特定非営利活動法人 トラベルフレンズ・とっとり	〒682-0802 鳥取市青葉町二丁目228番地 電 話 (070) 5675-4483 E-Mail : tf.tottori@outlook.com
	<受講申込先・研修実施機関> 鳥取県立産業人材育成センター倉吉校	〒682-0018 倉吉市福庭町2丁目1番地 電 話 (0858) 26-2247 ファクシミリ (0858) 26-2248

講師のご紹介



吉川 博光
(よしかわ ひろみつ)

バリアフリー温泉コーディネーター

佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター事務局長として、佐賀県嬉野温泉のバリアフリー化を推進した。その在職中に嬉野温泉は、楽天トラベルの「シニアに人気の温泉地」で3年連続日本一を達成する。その手法(嬉野モデル)はソフト面を重視するものであり、必ずしもハードが整った施設でなくても、高齢者や障がい者を満足させる事は可能だという事。



廣澤 孝彦
(ひろさわ たかひこ)

フリーで活躍、慕われるバスガイド

1939年、鳥取市青谷町生まれ。青谷高校卒業後、京都の大学に進み、学生ガイドとしてバスの修学旅行生を案内した。鳥取市の日本交通(株)、東京の大手旅行会社で62歳までバスガイドや添乗員をした(男性バスガイド第1号としてテレビなどに出演)。

その後、鳥取市観光案内所にも2014年3月まで勤務。鳥取市観光大学の講師も務めた。現在は、「山陰海岸ひとり旅」等作詞家としても活躍中。



勝谷 有史
(かつたに ゆうじ)

有限会社なにわ旅館 代表取締役

障がいのある旅行者を積極的に受入れ10年前から温泉旅館のバリアフリー化を推進。2016年2階フロアを全面的に改修し、全国屈指の広さと質を誇る露天風呂付バリアフリールームをオープンした。「旅館のバリアフリー化は、商売としても、従業員にとっても、十分な合理性があり、将来に向け重要な取り組みである。」をモットーに、建物・設備だけでなくスタッフのおもてなし研修などソフト面の強化を進めている。

鳥根県「あいメッセンジャー」、一般社団法人日本心理療法協会認定ピアカウンセラー。



**グリズデイル・バリー
ジョシュア**
(Barry Joshua Grisdale)

カナダ生まれ。
四肢まひ性・脳性小児まひにより、車いす生活。高校卒業時に父親と一緒に日本に約1ヶ月滞在。平成19年来日し、平成28年に日本国籍を取得。

都内で生活しながら、高齢者施設で勤務し、アゼリーグループのホームページ Web マスターとして活躍しつつ、海外の障がい者に向けた日本観光の英語情報サイト「ACCESSIBLE JAPAN」を運営するほか、これまでの知識・経験を活かし、国や自治体、企業が行うシンポジウムや講演会に参加する等、活躍中である。



三輪 利春
(みわ としはる)

NPO法人日本バリアフリー観光推進機構 副理事長
NPO法人プロジェクトゆうあい 理事

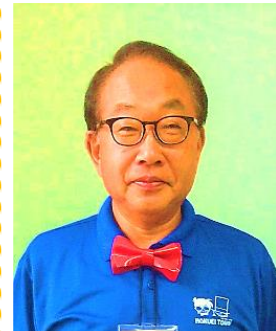
2004年にITを活用したバリアフリーの情報発信を行うNPO法人プロジェクトゆうあいを設立。30代半ばで交通事故により失明。盲導犬やパソコンとの出会いを通じて社会の扉を開く。松江市視覚障害者協会会長。島根ハーネスの会長。



川瀬 篤志
(かわせ あつし)

松江/山陰バリアフリーツアーセンター センター長
NPO法人プロジェクトゆうあい 理事

島根県内各所のバリアフリー調査やバリアフリー研修に携わった経験をもとに、島根に訪れる障がい当事者の旅行のサポートや情報発信を行っている。視覚障害者のサポートを多く手掛けている。



石田 敏光
(いしだ としみつ)

青山剛昌ふるさと館館長

大学卒業後、大手プラント建設会社に従事。その後、地元企業の代表取締役社長を経て、平成22年3月青山剛昌ふるさと館館長に就任し現在に至る。

「コナンの里づくり」を主軸に据えた新しいまちづくりに注力。また、日本二分脊椎症協会鳥取支部長、NPO法人トラベルフレンズとり副理事長を務める等、バリアフリーの推進や誰もが楽しめる観光施設づくりにも取り組んでいる。